

誠之の教育

4月号（第660号）
令和8年4月6日発行
文京区立誠之小学校

温故知新の春 150年の伝統を礎に新たな歩みへ

校長 土屋 秀人

新年度の始まりにあたり、皆様にご挨拶申し上げます。

本校は昨年度、創立150周年という大きな節目を無事に終えることができました。長きにわたり本校を支えてくださった地域の皆様、保護者の皆様、そして歴代の教職員・卒業生の皆様に、改めて深く感謝申し上げます。その歩みの重みを胸に刻みつつ、今年度より新たな一步を踏み出してまいります。

春は、生命が芽吹き、万物が新たに動き出す季節です。子どもたち一人ひとりの中にも、新しい希望や決意が芽生えていることでしょう。こうした時節にふさわしく、教育の原点に立ち返りながら、日々の営みを大切に積み重ねていきたいと考えております。

『論語』に「温故而知新（故きを温ねて新しきを知る）」とあります。これまでの伝統や実践をしっかりと受け継ぎながらも、時代の変化に応じて新たな価値を見出していくところこそ、これからの学校に求められる姿であると考えます。本校の150年の歴史は、まさにその積み重ねでありました。

本年度も、子どもたちが安心して学び、自ら考え、他者とともに成長していける学校づくりを進めてまいります。教職員一同、心を一つにして教育活動の充実に努めてまいりますので、引き続き温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新しい春が、皆様にとって実り多き一年となりますスタートとなることを、心より祈念し、新年度のご挨拶といたします。